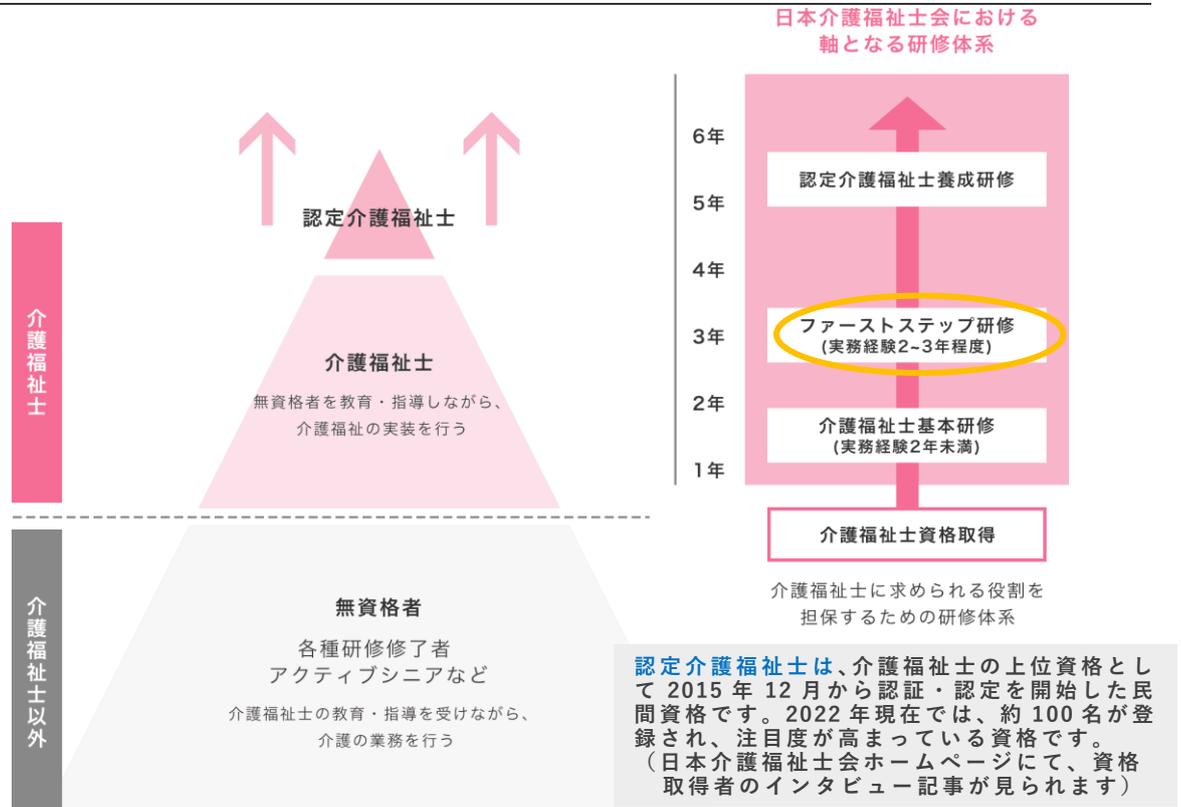


■ ■ 介護福祉士ファーストステップ研修の受講支援を行うこと」が、処遇改善に係る算定要件「職場環境等要件」として新たに認められました ■ ■

参考) 日本介護福祉士会における介護職チームの在り方を踏まえた生涯研修体系



◎これらは介護福祉士として働くために必ずしも必要なものではありませんが、キャリアアップを目指す上で大変有効です

軸となる研修の概要

介護福祉士基本研修 (資格取得後～実務経験2年未満を目安に)

介護福祉の専門職である介護福祉士として、生活支援としての介護の視点、自立支援の考え方、介護過程の展開等を学び、根拠に基づいた質の高い介護の実践力を培う研修



専門性を磨き、小規模チームのリーダーを養成

ファーストステップ研修 (実務経験2年～3年を目安に)

資格取得後の「求められる介護福祉士像」を目指し、小規模チームのリーダーや初任者等の指導係として任用することを期待できる人材養成を目的とする ※「実習指導者講習」「介護福祉士基本研修」修了が受講要件になります。



認定介護福祉士養成研修 (実務経験5年以上を目安に)

チーム介護職チームに対する教育指導、介護サービスマネジメントを行い、介護職のサービスの質を向上させる。地域包括ケアを推進するため、介護サービス提供において多職種との連携・協働を図る。地域における施設・事業所、ボランティア、家族介護者、介護福祉士等の介護力を引き出し、地域の介護力の向上を図る。といった役割の期待される介護福祉士を養成するための研修 ※「ファーストステップ研修」修了が受講要件になります。

◇改めて見直ししてみませんか◇ 一求められている自分の役割一

介護福祉士の役割

介護福祉士には、介護現場において専門性をもって、チームケアを推進する際のリーダーとしての役割を担うことが期待されており、このことについては、厚生労働省の社会保障審議会の報告において、以下のように示されています。

- 今後、介護サービスの利用者がさらに増加していく中で、利用者のニーズが複雑化・多様化・高度化することが見込まれ、そのようなニーズに的確に対応するには介護職がグループで関わるのが重要になると考えられる。
- 介護職には、介護未経験者から介護福祉士まで多様な人材がおり、それぞれの人材が有している知識・技術に応じて役割を担うことになる。
- 利用者の尊厳と自立の支援に向けて、サービスが適切に提供されているかの管理など、人材及びサービスの質のマネジメントを担う者が必要である。
- 介護職として従事している介護福祉士は、介護職員の約4割を占め、介護報酬上も介護の専門職としての評価がなされている。(サービス提供体制強化加算)
- 上記を踏まえると、利用者の多様なニーズに対応できるよう、介護職のグループによるケアを推進していくにあたっては、その中でリーダーの役割を担う者が必要であり、その役割を担うべき者としては、介護福祉士の中でも一定のキャリアを積んだ(知識・技術を習得した)介護福祉士が適当である。

社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会「介護人材に求められる機能の明確化とキャリアパスの実現に向けて(概要)」(平成29年10月)

◆◆◆実際に受講した皆さんの声をお聞きください◆◆◆



受講者の声 (令和5年度ファーストステップ研修アンケートより)

- 講師の先生方や他受講生の前向きな考え方、発言を聞くことで、自分自身のネガティブな考え方がポジティブな思考に少しずつ変わっていった。(青森県 K.Y様)
- 介護に対する考え方、チームとして自分の立ち位置を確認し、動き方が変わった。(秋田県 S.Y様)
- 介護福祉士を取ったという事の責任、介護の仕事をどのようにしていくか、そのすべてが自分の行動や考え方にかかっていると思うようになった。今までは目の前の今の姿のみをとらえて支援していく事を簡単に考えていたが、学びを通じその人のこれまでの生き方を大事にしていきたいと考えるようになった。(神奈川県 S.K様)
- チームのリーダー的な立場に立つと言うことは様々な事を学ぶ必要があるのだと再確認した。自分自身、リーダーとしての立場にいるが知識として知らないことが多かったと感じている。講師から知識を学び、グループワークで他者の意見を聞く、発表するプロセスが有って学びが身についていくのだと感じた。(青森県 T.Y様)
- 介護福祉士になってからは介護福祉士基本研修やファーストステップ研修を受講して学ばなければ、本来の重要な役割は理解することは困難と思いました。独自の考えを先入観や経験で判断していたところがあり、受講生では同じ介護福祉士でも考えや見かた、アプローチが色々あり、自分自身は固定概念にとらわれていたと感じ、様々な意見を聞いたり、話をしたりすることでまだまだ自己研鑽が必要と感じました。(神奈川県 A.T様)
- 利用者一人のケアに対して多くの視点、視野、視座から見ることで本当に必要なケアが分かってきて、自立支援につながるケアの介護過程を展開していく楽しさを学ぶことが出来ました。(神奈川県 A.K様)
- 基本的な「介護福祉士としてのあり方」を改めて見直すことが出来、自分の仕事に誇りが持てるようになりました。人前で話すことは緊張しましたがこれからも自己研鑽を続けていきたいと思えます。(神奈川県 O.K様)
- 研修を通して講義の項目で必ず自職場の分析や改善をセットで考える機会を頂いたことで、自職場の業務割り振りや職員の業務量の把握を実践した事で、職場内が活性化した。(神奈川県 K.T様)
- 分析する力や、解決していくための力、介護福祉士の専門性を言語化する力を得ることができた。(神奈川県 S.K様)

～14名の方にアンケートのご協力をいただきました～